第1学年コミュニケーション英語基礎「ATLANTIS」 英語に親しみながら基本的な表現を学び、積極的にコミュニケーションをとろうとすることができる。

	読むこと	聴くこと	書くこと	話すこと
時期	評価基準	評価基準	評価基準	評価基準
1 年 前 期		・つづりと発音の基本的な関係を理解し、単語レベルで聞き取ることができる。 ・教科書に関連する内容についてゆっくりとしたスピードであれば理解することができる。	について、自分のことを3文以 上の簡単な英語で書くことがで きる。	て、学習した表現を用いてゆっ
1 年 後 期	の生活や文化などの説明文を	・工業に関する簡単な単語(道具や工具の名前・作業)を聞き取って画像と結びつけることができる。・簡単な話題でゆっくりとはっきりした話し方であれば、相手の意見や理由を聞き取ることができる。	れば、自分の意見とその理由 を5文以上で書くことができる。	

第2学年 コミュニケーション英語 I「Viva!」

教科書で学んだ基本的な単語や表現を用いて関連する比較的英語を理解したり、自分のことを表現することができる。また、工業英語 についての簡単な内容を理解したり、やり取りをすることができる。

				・工業に関する簡単な英語表
			現を用いて、自分の経験や感	
	理解することができる。	てどのような作業をするのかを	想などを30語以上で書くこと	を単文で指示することができ
2		ゆっくりはっきりとアナウンスさ		る。
年	簡単な内容であれば、概要を	れれば、聞き取ることができ	・事実と意見を区別しながら30	・日常生活や文化について
前	理解できる。	る。	語以上の簡単な英語で自分の	ゆっくりとしたスピードであれ
期		・外国の生活や文化について、	意見を書くことができる。	ば、英語の音声的な特徴に注
		はっきりとゆっくりアナウンスさ		意しながら話すことができる。
		れれば、概要を理解することが		
		できる。		
	・巻末の単語・表現リストを用	・工業に関する基本的な英語	・自分の意見や説明を適切な	自分の意見や感想をメモがあ
2	いれば、事実と意見を区別しな	であれば、道具や工具を用い	接続詞を用いて30語以上で書	れば、ゆっくり相手にわかるよ
年	がら要点や詳細を読み取るこ	てどのような作業をするのか聞	くことができる。	うに話すことができる。
後	とができる。	き取ることができる。	・学習した文法事項を用いて、	
後期			自分の経験や意見を5文以上	
791			で書くことができる。	

第3学年 英語表現 I 「SELECT」 基本的な文法事項を理解して簡単な英文の内容を正確に理解したり、表現することができる。また工業英語に関する簡単な英文を正確 に理解したり、指示内容を英語で表現できる。

3 年	使われた英文であれば、動詞	・ゆっくりとしたスピードであれば、教科書で学んだ文法事項を含んだ1文を理解することが	の経験や考えを指定された文 法事項を含めて50語以上で書	現について、メモがあればつなぎ言葉を用いながら複数の作業を指示することができる。
3	簡単な単語を用いた文であれば、その構造を明らかにして内	・工業に関する簡単なやり取りについて、ゆっくりとしたスピードであれば概要を聞き取ることができる。 ・ゆっくりとしたスピードであれば、教科書で学んだ文法事項を含む複数で構成された文の概要を聞き取ることができる。	て、教科書のトピックについて 自分の経験や意見を論理的な 構成で50語以上で書くことが できる。	現を用いて、ゆっくりとしたスピードであればメモに頼らず指